

令和2年度 新入生オリエンテーション 全学教育機構関係配布物一覧

1. 教養教育科目について

2. 学期始めの手続等について

3. 基本教養科目受講希望申請の方法について

4. 全学統一英語能力テスト(TOEIC IP)の受験上の注意

※授業時間割表はこちら

<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/jikanwari.html>

●全学教育機構履修の手引きについて

「全学教育機構履修の手引き」は、デジタル冊子となっております。以下のいずれかの方法でアクセスして確認してください。

●URL : <http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/tebiki-h31-kyoyo.pdf>

●佐賀大学ホームページから
在学生の方へ > 教務関係 履修の手引き > 教養教育(R2年度入学)

●QRコード:



教養教育科目について

1. 卒業に必要な教養教育科目の単位数

学士課程を卒業するために必要な教養教育科目の単位数は、各学部の学科や課程ごとに異なります。さらに、基本教養教育科目の必要単位数は、各学部、学科・課程ごとに異なります。卒業に必要な教養教育科目の単位数を確認して履修登録してください。

卒業に必要な教養教育科目の単位数

学部	学科・課程	教 養 教 育 科 目										
		大学入門科目	共通基礎科目			基本教養科目			インターフェース科目	共通教職科目		合計
			外国語科目	情報リテラシー科目		自然科学と技術の分野	文化の分野	現代社会の分野		体育実技Ⅰ	体育実技Ⅱ	
				英語	情報基礎概論							
教育学部	学校教育課程	2	4	2	1	8			8	1	1	27
芸術地域デザイン学部	芸術表現コース	2	4	2		12			8			28
	地域デザインコース	2	4	2		12			8			28
経済学部	経済学科	2	4	2		14			8			30
	経営学科	2	4	2		14			8			30
	経済法学科	2	4	2		14			8			30
医学部	医学科	4	4	2	1	14			8			33
	看護学科	2	4	2		14			8			30
理工学部	理工学科	2	4	2		12			8			28
農学部	生物資源科学科	2	4	2	1	12			8			29

下の表は、教養教育科目の標準的な履修モデルです。履修計画は、自分の学科・課程での卒業に必要な授業科目及び単位数を確認し、この履修モデルを例にして、立ててください。

教養教育科目の標準的な履修モデル

科目区分		学年・学期						医学部医学科		
		1年次		2年次		3年次		4年次	5年次	6年次
		前	後	前	後	前	後			
大学入門科目		2								
外国語科目	英語	1	1	1	1					
情報リテラシー科目	情報基礎概論	2								
	情報基礎演習	1								
基本教養科目		8※		6※						
インターフェース科目				2	2	2	2			

※1年次：2年次＝6：4の割合で換算してください。

2. 英語について

2-1. 英語能力・技能検定試験の単位認定

英語能力・技能検定試験を受験し一定の成績をおさめれば、その成績結果を、英語の単位として認定することがあります。認定する英語能力・技能検定試験、及びそれぞれの検定試験成績の認定基準、認定科目、認定単位数、及び評価については、下の表を見てください。これらの検定試験で認定基準となる成績を取得し、認定を希望する場合には、原則として、学期始めの指定された期間内に、申請書及び合格を証明する書類を、教養教育教務に提出してください。

ただし、次の点に注意してください。

- (a) すでに修得した単位がある場合には、卒業に必要な単位数に不足している単位数までが認定されます。(英語で、すでに3単位を修得している場合には、英検で1級を取得し2単位の認定を申請しても、認定されるのは1単位です。)
- (b) 複数の能力・技能検定試験で同一レベルの成績を取得している場合には、1種類の成績だけが認定の対象となります。

認定基準、認定科目、認定単位数、及び評価

能力・技能検定試験と認定基準				認定科目	認定単位数	評価
TOEFL ITP	TOEFL IBT	TOEIC (TOEIC IPを含む)	英検			
520-560	68-83	640-760	準1級	英語B	1単位	認定
561以上	84以上	765以上	1級	英語C	2単位まで	

2-2. TOEIC IP を利用した全学統一英語能力テストの実施

本学では、英語学習について明確な学習目標を与えることで、学生の皆さんの自律的かつ持続的学習を促すとともに、入学後の英語力の推移を測定・検証し、本学の英語教育の改善と大学全体としての英語力の向上を図るため、平成25年度の入学生から、次のとおり TOEIC IP テストの受験を義務化しています。なお、実施日時、実施場所等の詳細については、学年暦や通知等で別途周知します。

3. 基本教養科目

3-1 基本教養科目の教育目標・目的・内容

基本教養科目は、「世界を認識するための幅広い知識」や「健全な社会や健康的な生活に関する知識」を修得し、高い市民性を培うことを教育目標とします。基本教養科目は、原則として1年次及び2年次に履修します。各学部の「履修の手引き」などに記載されている「履修細則」や、各学部・学科・課程が定める卒業に必要な単位数と履修方法に従って、「自然科学と技術の分野」、「文化の分野」及び「現代社会の分野」から選択して履修してください。各分野の授業科目の目的と内容は、次のとおりです。

分野	授業科目の目的と内容
自然科学と技術	自然を科学的な目で認識し、主体的な判断に基づき行動する素養を身につけることを目的とし、科学・技術の基本的な概念・科学的思考方法・科学的認識の歴史などや、現代社会における科学・技術の役割と限界などを内容とする。
文化	文化の捉え方・文化の違いや歴史的変遷などの理解によって文化という観点から世界を認識し、その下に行動する素養を身につけることを目的とし、文学と芸術、言語と表現、歴史と文化などを内容とする。
現代社会	現代社会の現状を捉え、健全な社会と生活の質の向上に向けて、主体的に関わり、役立てていく素養を身につけることを目的とし、基礎社会科学や教育と人間、現代社会の構造などを内容とする。

3-2 授業科目の選択

授業科目は、時間割を確認して、選択してください。各分野の「区分」は、授業科目を便宜的に整理したものですので、どの区分から選択しても構いません。ただし、授業科目の内容によっては、受講できない学科や課程、または学年が指定されている授業科目がありますので、選択する際には、シラバスをよく読んで確認してください。また、後にも述べる「留学支援英語教育カリキュラム」及び「全学共通の教育プログラム」の履修を認められた学生は、それぞれのカリキュラム、プログラムが指定する授業科目を優先して選択し、その上で、卒業に必要な基本教養科目の単位数を満たすために必要な授業科目を選択してください。履修する順序は、特に指定がなければどの授業科目が先でも構いません。

基本教養科目の履修方法等

教育学部	学校教育課程	日本国憲法を含み、各分野から2単位以上、計8単位以上を履修する。
芸術地域 デザイン学部	芸術表現コース	各分野から2単位以上、計12単位以上を履修する。
	地域デザインコース	
経済学部	経済学科	各分野から4単位以上、計14単位以上を履修する。
	経営学科	
	経済法学科	
医学部	医学科	各分野から2単位以上、計14単位以上を履修する。
	看護学科	
理工学科	理工学科	「文化の分野」及び「現代社会の分野」から8単位以上、計12単位以上を履修する。ただし、生命化学コース及び応用科学コースは、「文化の分野」、「現代社会の分野」の各分野から2単位以上を履修し、両分野併せて8単位以上、合計12単位以上を履修する。
農学部	生物資源科学科	各分野から2単位以上、計14単位以上を履修する。

4. インターフェース科目

インターフェース科目は、「現代社会が抱える諸問題に目を向けて課題を発見し解決に取り組む姿勢を養い、社会に対応するための知識・技術・技能や社会を生きるための力を身に付けることにより、学士課程教育で得た知識・技能を社会において十分に活かし、将来にわたり個人と社会との持続的発展を支える力を培う」ことを目標としています。すなわち、インターフェース科目は、専門の知識・技術・技能を身につけた皆さんが、そうした知識・技術・技能を社会に活かすための能力を培うための科目です。

4-1 インターフェース科目の構成

インターフェース科目は、関連する4つの授業科目からなる「インターフェースプログラム」と、プログラムの担当教員が必要に応じて開講する「インターフェース演習」とからなります。プログラムの授業科目は、インターフェースプログラム名にⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの番号が付されています。インターフェースプログラムの授業科目は、講義だけでなく、学生自らが主体的に参加する演習、調査、報告あるいは対話などを組み合わせ、「アクティブ・ラーニング」を志向します。

4-2 インターフェースプログラムの履修方法

インターフェースプログラムは、複数のプログラムから1つのプログラムを選択して登録します。登録したインターフェースプログラムでは、授業科目のⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを、原則として順次履修します。インターフェース科目の履修は、原則として2年次以上ですが、留学支援英語教育カリキュラムや全学共通の教育プログラムの履修を認められた学生は、予め定められたプログラムを定められた方法によって履修します。インターフェースプログラムでは、関連した4つの授業科目(8単位)をすべて修得しなければなりません。

4-3 インターフェースプログラムの登録

インターフェースプログラムの登録を、履修登録とは区別して「プログラム登録」と呼びます。プログラム登録は、原則として、1年次の後学期の終わりまでに行わなければなりません。各インターフェースプログラムの内容、履修の申し込み期間、履修者決定方法等については掲示を出しますので、注意しておいてください。プログラム登録していないインターフェースプログラムの授業科目を履修することはできません。また、インターフェースプログラムの授業科目の履修には、プログラム登録とは別に、科目ごとの履修登録が必要です。2年次後学期以降に転入学、編入学、再入学した学生は、3年次の前学期にプログラム登録を行うことができます。

学期始めの手続等について

令和2年度前学期は4月20日（月）に開講します。
各学部とも、学期ごとに履修できる単位数の上限が決まっていますので、各学部オリエンテーション時の指導にしたがって、無理のない履修計画を立ててください。
全学教育機構で開講する教養教育科目に関しては、「全学教育機構履修の手引き」を参考にしてください。

【教養教育科目と履修登録方法】

1. 大学入門科目：自動で登録されます。
2. 共通基礎科目
 - ・外国語科目（英語）：自動で登録されます。
 - ・情報リテラシー科目：自動で登録されます。
3. 基本教養科目：Web フォームで登録（LiveCampus での履修登録不可）
4. インターフェース科目：1年次後学期にプログラム登録
5. 共通教職科目：教職免許取得に必要な科目で、学部によって手続きが異なるので注意

1. 大学入門科目について

履修クラスが自動的に決定されます。LiveCampus の時間割で確認してください。

2. 共通基礎科目について

- ・英語のクラス編成について
「英語A」は履修クラスが自動的に決定されます。LiveCampus の時間割で確認してください。
- ・情報リテラシー科目
履修クラスが自動的に決定されます。LiveCampus の時間割で確認してください。

3. 基本教養科目について

「基本教養科目」は、主に水曜日1・2・3校時と木曜日1・2校時に開講されます。この科目については、履修する授業科目を事前に選ぶ必要がありますので、自分が履修したい科目を決めて「基本教養科目履修希望申請サイト」から、申請してください（サイト内にWeb フォームがあります）。
なお、誤ってLiveCampus で登録した場合の登録内容は、すべて無効になります。

<基本教養科目履修希望申請サイトはこちら>
<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/ge-ap.html>

【参考資料】

- 佐賀大学HP「基本教養科目履修希望申請サイト」←**申請前に必ずお読みください。**
- 「全学教育機構授業時間割」
- 「全学教育機構履修の手引き」のオンラインシラバス参照方法

申請期限：4月20日（月）午前9時

4. インターフェース科目について

インターフェース科目は、大学でこれから学ぶ専門の知識・技術・技能を、社会に出て活かすことのできる能力を培うための科目です。

関連する4つの授業科目で1つのプログラムを構成しており、それを「インターフェースプログラム」と呼んでいます。

【教育・芸術地域デザイン・経済・理工・農学部の学生】

1年次後学期に、プログラムの説明資料をeラーニング上に掲載しますので、それを参考にして、自分が履修したいプログラムを選択し、そのあと抽選で決まったプログラム1つを2年間かけて履修します。

2年次前学期に「科目Ⅰ」を、2年次後学期に「科目Ⅱ」を・・・というふうに、関連する4科目を履修し、最終的に4科目8単位修得を目指します。

後学期以降に、掲示等により詳細をお知らせしますので、見逃さないよう注意してください。

5. 共通教職科目（体育実技Ⅰ・Ⅱ）について（医学部を除く）

体育実技は当初の予定から変更し、前学期集中講義等での開講を考えております。
決定次第、お知らせします。

お問い合わせ 教務課 教養教育教務担当
(学生センター内 0952-28-8817)

基本教養科目履修希望申請の方法について

1. 「履修希望申請」の目的

選択科目である「基本教養科目」の履修者数を事前に調整し、できるだけ「希望の授業科目を履修する機会」を与えるための手続です。

2. 申請するときの注意

- 1) ホームページの履修希望申請サイトの注意事項をよく読んで、申請を行ってください。
- 2) 第3希望まで申請したほうが履修できる可能性が高くなりますので、第1～第3希望に「異なる3科目」を書いてください。3か所に「同一科目」を書いても履修の可能性は増えません。
- 3) 申請期間以後は一切受け付けません。また、期限内に提出しない場合は、希望する科目を履修できません。
- 4) 基本教養科目は、本庄・鍋島・有田それぞれのキャンパスで開講されています。選択の際は注意してください。10分間の休憩の間にキャンパス間の移動をすることはできません。

申請期限：4月20日（月）午前9時

履修希望申請サイト：<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/ge-ap.html>



3. 抽選結果の発表

LiveCampus で確認してください

抽選結果発表：4月20日（月）午後3時ごろ

LiveCampus：<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/livecampus.html>



希望者が多い授業科目を選んだ場合は、抽選に漏れることがありますので、抽選に漏れた場合や、当選した科目を取り消して新たに別の科目を履修したい場合は、次の4.に従って、必要な手続きをしてください。

4. 履修科目の削除及び追加

何らかの理由で、当選した授業科目を取り消したい場合、また、他の人が履修取り消しを行ったため欠員が生じた科目を履修したい場合には、LiveCampus 上で科目の削除や追加を行うことができます。都合により履修希望申請を提出できなかった場合も、欠員がある科目への登録が可能です。但し、一度取り消した授業科目は欠員がなければ再び登録することはできません。

削除・追加期間： 4月21日（火）～ 4月27日（月）

最終確認として、4月27日（月）までにLiveCampus 上の参照画面で自分の履修登録状況を確認してください。4月28日（火）以降はLiveCampus による操作はできなくなりますので、注意してください。

5. その他の注意事項

LiveCampus のログインIDは学籍番号です。初期パスワードは学生証の顔写真の下に書かれています。

変更の手続きは1回の操作で行うことはできません。必ず取り消したい科目を削除してから、履修したい科目を追加して下さい。

全学統一英語能力テスト (TOEIC IP) の受験上の注意
(教育学部, 芸術地域デザイン学部, 経済学部, 理工学部, 農学部用)

※全員に受験の義務があります。

佐賀大学では、学生の皆さんが英語学習について明確な学習目標を持つことで自律的かつ持続的学習を行えるように、さらに、入学後の英語力の推移を測定・検証し、本学の英語教育の改善と大学全体としての英語力の向上を図るために、1年次及び2年次に TOEIC IP テストを実施しています。(費用は大学が負担します。)

以下は、受験上の注意事項ですので、よく読んでおいてください。

1. 1年次前学期の受験

新型コロナウイルス感染症対応のため
現在、日時等を再検討中です。

2. 2年次後学期の受験

(1) 試験日時：2021年12月予定

※令和3年度の学年暦が決まり次第、掲示等で通知します。

(2) 試験会場：本庄地区（予備日も含む。）

※試験室については、掲示等で通知します。

(3) 利用方法：英語D（2年次後学期開講の必修科目）の成績の一部（30％）として利用します。また、これにより大学全体、学部・学科等のレベル、学生個人レベルでの2年次生の英語力の状況を把握します。

※1 英語Dを受講していない者（英語Dの単位認定を受けている者を含む。）及び外国人留学生についても受験義務があります。

※2 3年次以降に英語Dを再履修する場合は、成績評価に反映するため、再度受験する必要があります。

3. 受験上の注意

(1) 試験当日の入室開始は9：00からです。（入室完了は9：20）

(2) 遅刻限度時間は9：40です。9：40までに教室に入室できなかった場合は受験できません。

(3) 受験する教室の割り振りは、後日掲示等により通知します。

- (4) 受験の際は、本人確認のため 学生証を持参してください。忘れた場合は受験できません。
- (5) 学籍番号、氏名等の記入間違い等により受験者が確認できない場合は、試験結果が無効となる場合があります。
- (6) 試験開始後、途中で退室した者については、受験したものとみなし、再試験等の救済措置は行ないません。
- (7) 予備日を含めて受験しなかった場合
再試験等の救済措置は実施せず、次のとおりとします。
2年次後学期の受験
英語D（2年次後学期開講の必修科目）の成績の一部（30%点）には全く反映されません。授業の受講及び定期試験等の教員による評価（70%）のみで成績が確定します（最高で70点の評価になります）。
- (8) TOEIC IP テストについては、試験問題及び模範解答の開示等はありませんので予め承知しておいてください。
- (9) 個人の成績は開示しますが、具体的な日時等については、掲示等で通知します。
- (10) 試験結果が優秀な学生（900点以上の得点者、全学で得点が上位10名の者、1年次前学期受験時の成績と比較して2年次後学期受験時の成績の伸びが著しい者）に対し、大学が表彰を行います。
- (11) 大学として受験する TOEIC IP 試験以外の TOEIC IP 試験の結果については、成績評価の反映には利用しません。
- (12) 本試験は、外国語能力検定試験の単位認定に利用することができます。
- (13) 前学期・後学期ともに、本試験と予備日試験の両方を受験することはできません。